



Q かすみがうら市ではいつからパスポートの交付申請ができるの？

A 平成22年1月4日から千代田窓口センターで申請受付を開始します！



### ★ますます便利に。そして、身近に… 平成22年1月から パスポートの窓口を開設します！

現在、国や県では、市民生活に身近な行政サービスをそれぞれの市町村の窓口で受けられるよう、地方公共団体への権限移譲を推進しています。

当市では、一般旅券（パスポート）取得に関する申請受付と交付の窓口を平成22年1月4日（月）から市民課千代田窓口センターに開設するため、準備を進めているところです。

これまでは、県南パスポートセンターまで足を運ばなければなりませんでした。身近な市の窓口で手続きができるようになります。（原則として市に住民登録をしている方が対象）

なお、県南パスポートセンター（土浦駅西口ウララ3）は、12月28日で閉鎖になります。その時点で申請中のものは、茨城県パスポートセンター（水戸市）での受け取りになります。

#### パスポート豆知識



- 取得できる年齢  
0歳から取得できますが、未成年の方が申請する場合は有効期間が5年のパスポートのみとなります。
- パスポート有効期間  
入国の際にパスポートの残存有効期間が一定期間（6カ月以上、3カ月以上など）必要な国もあります。この期間が不足していると入国できない場合もありますのでご注意ください。残存有効期間についての問い合わせは、各国の在日大使館などへお願いします。
- パスポートの切り替え  
残存有効期間が1年未満になると、新たなパスポートへの切替申請ができます。ただし、残存有効期間は切り捨てになり、旅券番号も変わることになりますのでご注意ください。
- 交付（受け取り）  
年齢に関係なく、本人でなければ受け取ることができません。  
※12月28日までは、詳しい内容について県南パスポートセンター（☎029-825-4555）へ問い合わせください。

問い合わせは 市民課千代田窓口センター ☎内線 1135

### 図書館だより 事業団体のご案内

図書館 ☎029-897-0647  
千代田分館 ☎0299-59-5252

図書館では、児童サービスの一環として、「お話し会」を開催しています。テレビのように一方的に流れてくるものではなく、目の前でボランティアの方が子どもたちに向けて絵本や紙芝居を読んでくれます。一冊の本でもみんな読んで読むと楽しい気持ちになるため、もっともっと本が好きになることを願っています。

### かすみがうら市で読み聞かせをしている2つのボランティア団体を紹介



**石のスープの会**  
設立 平成6年9月  
会員 8人

**活動内容** 毎月第2土曜日午後2時から図書館（あじさい館）でお話し会を開催しているほか、保育所や小学校などで絵本、紙芝居、パネルシアター、大型絵本の読み聞かせを行なっています。



**つくしんぼ**  
設立 平成3年9月  
会員 7人

**活動内容** 月に3回午後4時から児童館でお話し会を開催しているほか、保育所などでパネルシアター、カーテンシアター、大型絵本などを、老人施設では、ハーモニカを吹いたり、腹話術などをして楽しんでもらっています。

## 市長随想

19

### 技を究める

このほど、2016年のオリンピック開催都市にリオデジャネイロ（ブラジル）が選ばれたが、2度目の開催を目指した東京オリンピック招致合戦の最中、テレビにおいて石原東京都知事を先頭にPRされている姿とともに、昭和15年の東京招致に関わりの深い柔道家、嘉納治五郎の功績が紹介されていた。

講道館柔道の創始者として嘉納治五郎は有名だが、彼はスポーツや教育分野の発展、日本オリンピック初参加に尽力し、日本におけるスポーツの道を世界に開いたと言われている。

幼少より虚弱体質だった彼は、よくいじめられ、悔しい思いで過ごしたが、その中で非力な者でも強力な者にも勝てるという柔術があることを知り、毎日稽古に励んで強い心身を取得していったそうだ。

同時に、嘉納氏は新しい技術

と理論を組み立て、「体を鍛え、心を練り、徳性を磨く」を目的とし、修行道場の講道館を設立。日本を始め世界に「柔道」を普及させることになる。

「日本は今まで世界から様々なことを学んできたから、日本も何かを世界に教えるなければならない。柔道は日本の優れた文化であり、この柔道を教えることにより世界の文化向上に寄与することができると悟り、柔道を通して日本文化を世界に伝える偉人と言われている。

このような嘉納治五郎の功績を見聞するときに、私たちは、職員とともに行政のプロとして「まを良くする」「市民のために」と、全身全霊で職務に励まなければならないと強く感じた。

市民の皆様にも、それぞれの職業分野で活躍していただきたいと思っています。与えられた仕事にプロ意識を持ち、全神経を注ぎ、職を究めていくことが、しいては社会貢献になっていくのではないだろうかと思う。

かすみがうら市長 坪井 透